

広域連携による「全国フットパスのつどい」開催事業

みさとふつとばすきょうかい
【団体名】美里フットパス協会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 美里町は、少子高齢化が進む典型的な中山間地域ですが、棚田・用水路・石橋・清流・九州脊梁山地・豊富な農畜産物など、豊かな資源に恵まれています。
- その豊かな地域資源を活用した多様な地域振興活動を行っているものの、活用しようとしている地域資源が、地域住民にとって「日常的なもので、当たり前」という感覚があるため、十分にその魅力を発信できていない現状にありました。
- このような状況の中、今一度、地域住民が一丸となって地域資源を改めて見直し、活かすことに繋げるためにフットパス等による滞在型の「歩き」の活動という、新しい楽しみ方（観光）のジャンルとして確立しつつある流れに乗り、こうした新しい観光スタイルを美里町から全国に広めるため、山都町、宮崎県五ヶ瀬町及び椎葉村とも連携し、広域的な取組みを展開しました。

取組みの概要

- ◆ 「全国フットパスのつどい2024in美里町&九州ハイランド」の開催
 - ・ 九州各地のフットパスの事例報告やパネルディスカッションを行いました。
- ◆ 全体交流会の実施
 - ・ フットパスのつどい参加者同士の交流を目的に軽食を囲みながら歓談できるように全体交流会を実施しました。



パネルディスカッションの様子

取組みの成果・現在の取組み状況

- 「全国フットパスのつどい2024in美里町&九州ハイランド」に、全国各地から230名が参加し、その後行われた全体交流会では、198名が参加しました。
- 当イベントでの参加者との交流をきっかけに、肥薩おれんじ鉄道と連携し、レール&フットパスのコース造成や広報物の作成を行いました。さらに、フットパスを県内全域へ普及・拡大するため、くま川鉄道や南阿蘇鉄道にも活動を広げています。こうした取組みの成果や地域への関心の高まりを受け、外部からフットパスに関する執筆依頼も寄せられるようになりました。
- 現在の活動としては、今秋から来春にかけて、フットパスイベントを開催しており、美里町の豊かな自然を感じながら、人との出会いを楽しむ機会を提供することで、さらなる魅力の発信を図っています。
- 本事業で得られたネットワークを活かし、美里フットパスの旅行商品化を視野に町内で一体として造成することに取り組んでいきます。



フットパスウォークの様子



フラッグ引継式の様子



全体交流会の様子